

離島環境検査報告

離島学校環境衛生検査に行ってきました

学校保健委員会 委員長 長 野 慎 治

鹿児島市薬剤師会では、今年度も十島村7校、三島村4学園の学校環境衛生検査を実施していきます。今回もそれぞれの学校に1名ずつ派遣し、講話や水質の検査、照度などを行います。11月28日(火)に私の担当で、十島村の宝島小中学校に行ってきましたので、ご紹介したいと思います。



十島フェリー (am5:00)

出発は、前日の月曜日午後11時に奄美大島（名瀬）へ向けて出航します。約6時間かけて初めは口之島に、つづいて中之島に、最後の宝島には鹿児島を出航13時間後の正午に入港します。午後の授業時間を活用し、5時限目には小学生1～6年全員（12名）に、「たばこ・お酒」についての講話を行い、そのあと、6時限目に中学生1～3年全員（4名）に対し、薬物乱用教室を行いました。その後、17時過ぎまで宝島小中学校環境衛生検査を行っていきます。また、終了後一旦、宿に戻り、19時から島民向けの社会教育学級の講話を実施してきました。

検査内容は「照度測定」、「給食室の衛生検査」、「飲料水の水質」、「施設の安全性」を基本に実施しております。実は、9月に訪問予定だったのですが、波が高く、フェリーが欠航になったこともあり、無事に出発でき予定していた検査を一通り実施できましたので、安心しました。

去年までは新型コロナの影響で、乗船前に健康チェックをしたり、PCR検査が必要になったりと、制約の多い環境衛生検査でしたが、講話では、マスクをすることもなく、しばらくぶりに解放感のある講話ができました。今年度もまだ途中ですが、すべての学校を検査していくために、準備をしています。最後にこの事業にご協力頂きました先生方に御礼申し上げます。



宝島小中学校



お酒・たばこについての講話